

## 初心俳句日記抄 令和6年晩秋

2024年11月27日 6組 瀬戸章嗣

### 七度辰秋のリハビリ五十肩

夏の入院中に左の腕を大事にし、退院後も右腕に頼っていたためか、左腕が上がらなくなり、近くの整形外科で五十肩と言われた。80過ぎての五十肩直しも、悪くないと気を取り直して、リハビリに通っている。

### 猫背老あご引く秋や空見上げ

猫背直しを始めて4年弱だが、背骨の前曲がりが残っており、今秋から、川沿いの広い散歩道で、あごを上げずに、前方空を見上げる姿勢を保ちながら、空と足先を交互に見ながら歩くことをやりはじめた。

### どんぐりがポンポンと鳴り森しずか

青天無風の日、白樺林の観察遊歩階段を上がっていると、静寂を破ってどんぐりが木製階段に落ちて鳴り、元気を貰った気がして、その後の静かさを味わった。

### どんぐりやおばちゃん団がバケツ下げ

どんぐりが落ちているシラカシ林やコナラ林に通じる坂道で、おばちゃんの10人ほどが連れ立って、小ぶりのプラ・バケツを下げて、満足そうに下りて来て、今風のどんぐり拾いとわかった。

### 屋前の富士山白し老い生きる

晩秋になり、午前中の西の方に、冠雪した富士山が見える日が多くなり、丹沢山脈の向うに、富士の7・8合目辺りの上だけだが、見えると元気を貰っている。

### 農家前百円で買う柚子四つ

住宅街化しても、畑や果樹園に囲まれた農家が散在して農協もある、川崎市北部の丘陵地帯に住んでいるが、散歩道沿いの家の塀壁にある100円棚に、小ぶりの柚子4個入りの袋が並び出た。

## 柚子入れて朝夕の風呂ありがたし

最近朝夕の2回風呂を楽しんでいるが、ゆず湯も有難く楽しもうと思った。

## 民主主義裏を見せたり紅葉散る

民主主義が、専制下での不幸な人々を救い出し、自由平等社会への道を開く制度としての表とは別に、扇動に弱く、独裁によるマイナス政治へも通じやすい等の裏もあることは、聞いては来ていたが、最近、人々の幸せ実現を阻む、制度的欠陥を感じさせる現象を感じている。

## 戦争のだまし高度化秋深し

騙すことが喧嘩に勝つための有効手段であることは事実だが、殺し合いの喧嘩たる戦争で、だましの技術が高度化しているのを感じており、世界中が幸せになるためには、とんでもないことだと思ふ秋である。

## 嘘やめよ礼忘れまじ和の世界

「うそも方便！悪乗り現象」を見ることが日常化しているが、我が国の歴史の先達が掲げた、万機公論に決する和の世界は、中国先人が唱えた礼による相手尊重とのセットであったと思う時、「礼」が、見直されてよい頃ではないだろうか。

以上